

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	令和7年度第1回松阪市文化センター運営委員会
2. 日 時	令和7年6月19日（木） 午後7時00分から午後9時00分
3. 場 所	農業屋コミュニティ文化センター
4. 出席者名	（委員） ◎森本小百合、木川真一、馬場弘幸、牧田研介、 長百合子、富保孝之、縄手文人 （◎委員長） 7名出席 （事務局） 松阪市民文化会館 北河館長、久保主任、磯田 嬉野ふるさと会館 長谷川館長、佐々木 文化課 松葉参事、梶間課長補佐、早川係長 8名出席
5. 公開・非公開の別	公開
6. 傍聴者数	無し
担当	松阪市川井町690番地 松阪市民文化会館 担当者 館長 北河享 電 話 0598-23-2111 FAX 0598-23-2114 e-mail bunka.kai@city.matsusaka.mie.jp

議題

1. 令和6年度自主事業実績について
2. 令和7年度自主事業予定について
3. 令和8年度自主事業案について
4. その他

議事録

別紙

令和7年度第1回松阪市文化センター運営委員会議事録

日 時 令和7年6月19日（木）19：00～21：00

場 所 農業屋コミュニティ文化センター

出席者 【委 員】◎森本小百合、木川真一、馬場弘幸、牧田研介、長百合子、富保孝之、
縄手文人 7名出席
(◎委員長)

【事務局】松阪市民文化会館 北河館長、久保主任、磯田

嬉野ふるさと会館 長谷川館長、佐々木

文化課 松葉参事、梶間課長補佐、早川係長 8名出席

委員長、副委員長について互選を行い、委員長を森本委員に、副委員長を牧田委員に決定した。

◎議 題

1. 令和6年度自主事業実績について

令和6年度自主事業実績について説明。クラギ文化ホールは改修工事で閉館していたため、実績なし。農業屋コミュニティ文化センター7事業、嬉野ふるさと会館8事業を実施。8事業中3事業は例年クラギ文化ホールで実施していたが、改修工事に係る閉館のため、市民文化会館事業であるが、嬉野ふるさと会館を使用した。

また、文化芸術団体共催事業として、農業屋コミュニティ文化センターでの5事業を実施。事業の概要、入場者数の実績等について報告。

主な議論・意見内容

- ・スタインウェイピアノ体験会について、1日ずつ増やした方が良いという前年の意見が反映されたこと、その結果、応募者ありしっかり利用されているなど分かった。
- ・入場者数の見込みはどのように計算しているのか。
- （事務局）過去の実績から予測し記載している。綿密な計算をしているわけではない。類似の催しの入場者数の1割増しを目標に集客をしたいというところで、事務局で定めている。
- ・子ども向けの催し物の入場者数が少ない。今年はルドルフとイッパイアッテナの演劇を実施するが、チケットの販売方法や情報発信に関して工夫されることがあれば教えてほしい。
- （事務局）子ども向けの集客が伸び悩んでいるところが課題。今までの告知方法は広報や新聞記事に掲載することが多かったが、若い親御さん向けにSNS等を活用した告知をしていかなければならないと思っている。
- ・ワンコインコンサートに関しては津で行ってから松阪で実施されるため、安価な値段でできる。地元の人たちとのコラボというのも検討しても良いと思う。集客率だけでなく市民にどんなサービスを与えられるかが重要。平日開催なので、仕事をされている方は来場が難しいが、これをすごく楽しみにしている方はいるので、今後も続けていきたい。

2. 令和7年度自主事業予定について

クラギ文化ホールでは13事業を実施予定。リニューアルオープンイベントでは委員長にテーブルカットをお願いした。ワンコインコンサートは3回実施予定。20周年記念事業として、「なんでも鑑定団 出張！なんでも鑑定団 in 松阪」「おやじバンド合戦～松阪の陣～」 「NHK 新 BS 日本のうた」「第3回ダンスフェスティバル」を実施。「舞台裏見学会」を2年ぶりに、「松阪の第九」を3年ぶりに開催する。

農業屋コミュニティ文化センターでは3事業を実施予定。6年度に引き続き「関孝弘ピアノリサイタル」を開催する。「スタインウェイピアノ演奏体験会」は3日間開催。子ども向け演劇として「ルドルフとイッパイアッテナ」を実施。

嬉野ふるさと会館では4事業実施。「スタインウェイピアノ演奏体験会」は3日間実施予定。クラギ文化ホールで実施される「おやじバンド合戦」の予選会を嬉野ふるさと会館で実施。「舞台裏体験」ではただ見てもらうだけでなく、ペットボトルマラカス作成体験や、缶バッチ作成体験を行う。「嬉野寄席」について、演者は未定であるが、知名度のある方に出演を依頼する予定。

文化芸術団体共催事業では3事業を実施予定。中でも「第15回ギター音楽祭」では市制20周年記念の合奏曲として、「松阪に行こう」「鈴踊りと日本の四季の歌」を初演する。

主な議論・意見内容

- ・リニューアルオープンイベントについて、最後がいつ終わったかが分からなかった。せっかくの機会なので、文化センターとしてどのような考えで、どのようなことをするのか、市制20周年記念でどのような事業があるのかをアピールする時間があったのではなかっただろうか。また、嬉野ふるさと会館の舞台裏見学は面白そうだが、クラギ文化ホールでも同じことを実施するのか。
→（事務局）同じような子ども向けの舞台裏見学会であるが、実際に舞台照明を触って色を変えてみたり、マイクを使って音を変えてみたりする。嬉野ふるさと会館でのやり方も楽しそうだと思うので、連携しながら良いところは取り入れて実施していきたい。
- ・嬉野ふるさと会館の舞台裏見学会はどれくらい周知されているのか。
→（事務局）チラシにて周知しています。

3. 令和8年度自主事業案について

選定案に沿って説明。クラギ文化ホールを改修したことから、より多くの人に訪れていただけるよう著名なアーティストの誘致も進めていきたい。

主な議論・意見内容

- ・松阪は文化の風が吹きにくい中、中部フィルさんにとても考えていただき、ジブリを演奏した結果、満席に近い形になった。昨年見た人が子どもに本物を聞かせてあげたいという風につながっていけば良いと思う。今年は昨年と比較し大きなホールでの実施となるが、昨年来ていただいた人の声を聞き、来場者数が増えることを期待したい。
- ・演劇の来場者数が少ないのは、演目の選定が少し難しかったのかもしれないと思う。遠くに行かなくても子どもたちに松阪で演劇を見せてあげたい。今まで通り、NPOさんと連携し提供して

いただきたい。

4. その他

- ・リニューアルオープンイベントの際に雨で、かつイベントが重なっていたため駐車場が渋滞した。駐車場のキャパとしては停められる台数はあるのか。

→（事務局）どこの文化ホールでも客席に対して半分くらいの駐車場の台数が目安になる。駐車場の台数としては、鈴の森公園側の第二駐車場を合わせて 550 台ほどある。市民病院の駐車場を借りるなどして対応しているが、イベントが重なると駐車場が足りなくなるのは長年の課題です。

- ・イベントが重ならないように配慮はされないのか。

→（事務局）可能であれば両館押さえることは時々しているが、貸館の際にあまりにも自主事業の先約を入れてしまうと、貸館が取れないという意見があるため、土日がすべて自主事業で埋まらないように調整をする必要がある。また、自主事業が年度途中で決まると、1 年前から予約できるようにになっている貸館と重なるということが起こりうる状態になっている。

- ・第 2 回運営委員会の開催日程を決定する。